



毎週土曜日はコトニにおいて

3月28日、琴似地区で「土曜はコトニ」のプレオープニングイベントが開催され、100人以上の住民が参加しました。

これは、毎週土曜日を中心に同地区の文化施設や商店街を利用してさまざまなイベントを行うもので、この日は、^{うえだ}上田市長と北大公^{なかしまたけし}共政策大学院の中島岳志准教授を交えてのトークショーなどが行われました。



ヒグマの毛、ゴワゴワしてるね

3月22日、西野第二小学校で勉強会「親子でいっしょにヒグマを知ろう!」が開催され、小学生や親子連れら約50人が参加しました。

参加者らは、ヒグマの習性や食べ物などについてのクイズを解いたり、ヒグマの毛皮を触ったりするなど、楽しみながらヒグマの生態を学んでいました。



まちづくりは若者も巻き込んで

3月14日、発寒地区で「まちづくりサポーター塾@カフェ・ハチャム」が開催され、学生や商店街関係者など15人が参加しました。

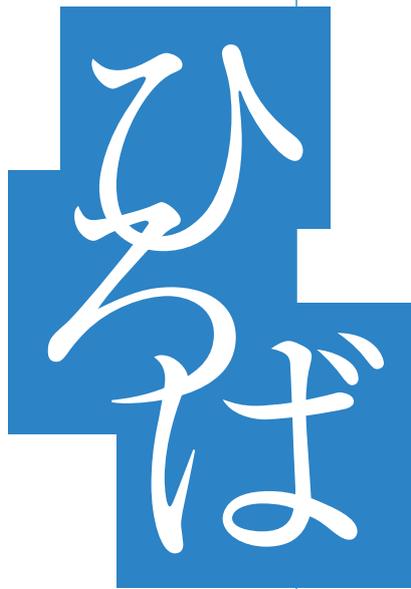
学生らは「カフェ・ハチャム」の調理場に立って手伝いをしたり、商店街・町内会の人たちと、まちを元気にするための意見交換をしたりと、実際の「まちづくり」の現場を肌で感じる体験をしました。



元気で川に帰ってきてね!

3月29日、山の手南小学校などの児童と保護者ら約40人が、琴似発寒川でヤマメの稚魚約500匹を放流しました。

約3カ月間家庭で育て、体長3センチほどになった稚魚を放流すると、児童らは「元気でね」と声を掛けながら、力強く泳ぐ姿を見つめていました。



区内で行われた
行事を写真で
紹介します。

